

一般質問

■旧中島中学校跡地の進捗について
要望書を踏まえた進捗状況を伺う。

質

中島地域の住民にとって、中島中学校跡地は非常に大事な問題であり、これまで、何度も質問している。また、主に地域でのアンケートを基にした中島地域づくり協議会、中島町会連合会、中島地区自治会、能登鹿北商工会の連名の要望書が市長へ提出されている。一部を紹介すると、一番多いのは多目的広場の整備、2つ目は、移住定住を促進するための宅地造成、3つ目は、企業誘致である。このことも踏まえた現在の進捗状況を伺う。

答

旧中島中学校跡地については、どのような整備を行うとしても、広大な面積から生じる雨水排水への対応、対策が不可欠である。当初予算案において、調整池や水路などについて地元の方々の調整を図りながら調査設計を行うための予算を確保した。基本的には、地元の方々の要望に沿って、優先順位をつけながら計画を立て、順次整備していくこととなる。有効活用に取り組んでいきたいと考えており、いろいろなお知恵をお借りしたい。



山花 剛 議員
(無党派)



中西 庸介 議員
(新政局)



一般質問

■当市の観光戦略について
コロナ感染終息後のインバウンド事業の再開のための方策を伺う。

質

外国人観光客に対して旅行商品や観光スポットなどの紹介、PR宣伝を行うインバウンドプロモーションは必要不可欠である。我々が住む能登にはまだまだ十分に知られていない、新たな魅力や観光資源があり、外国人客を引きつける素材が多くある。当市として、インバウンド事業による外国人旅行者の入り込み数を伸ばすための方策を伺う。

答

アフターコロナの観光戦略として、本年2月にはタイ王国工業省と共に「第22回日本・タイお互いフォーラム in NANO」を開催し、海外販路拡大と観光のプレゼンテーションなどを行っている。また、「第15回アジアテレビドラマカンファレンス」の開催により、映像制作関係者と地域の歴史文化を生かしたエンターテインメント事業の展開も行っている。このような関係人口を生かし、経済交流、インバウンドも含め、海外に向けた新たな七尾市の観光戦略となるように、さらなるインバウンド事業に積極的に取り組んでいきたい。

一般質問

■策定予定の戦略や計画について
観光戦略プランを策定せよ！

質

ななお・なかのと観光振興プランは、ななお・なかのとDMOを中心とした観光地域づくりの推進に関する計画であり、非常に重要な戦略である。改定にあたり、インバウンドの再開など有利な条件が整う一方、新幹線の県内全線開業が迫る中、関西圏から七尾を訪れる観光客には乗換えの負担があることや観光分野での人手不足の懸念など、課題もある中、コロナ禍の影響も脱し切れていない。

このプランがどのようなものであり、策定における市としての関わりはどのような予定なのか伺う。

答

ななお・なかのと観光振興プランは、令和元年度から5年間の中長期的な計画で、延べ宿泊数等のKPIを定めて事業評価を行い、観光地域づくりに取り組んでいる。

第2次観光振興プランは、令和6年度からの5か年計画で、令和5年度に策定予定である。策定にあたり七尾市、中能登町、能登半島広域観光協会など多様な関係団体による策定委員会を開催し、本市の観光産業がコロナ前の数値に戻るよう、ウィズコロナの対策やインバウンド対策などを重点項目として、検討を行う予定である。



高橋 正浩 議員
(無党派)

